

ほけんだより

豊郷北小 H30.4月号



4月の保健目標：自分の体について知ろう

※おうちの人と、読みましょう。

御入学・御進級おめでとうございます

春の訪れとともに、新しい一年が始まりました。新しい教室、新しい先生、新しいクラスなど、環境の変化は子供たちにとって楽しさと同時に不安や緊張も多いと思います。子供たちが新しい環境に少しでも早く慣れ、楽しく、健康な生活ができるよう、保健室からサポートしていきたいと思います。今年も保健室は子供たちの「からだの元気」と「こころの元気」を応援しています。



＊朝の健康観察のポイント＊



- ☐ すっきりと目覚めましたか？
- ☐ 朝食は食べましたか？
- ☐ 話をしない、表情が暗いなど、沈んだ様子はありませんか？
- ☐ 頭痛・腹痛・下痢・発熱などの症状はありませんか？

4月は環境の変化の大きな時期です。お子さんが慣れない環境で体や心の調子を崩すことがあります。顔色や食欲、元気があるかなど御家庭での『こころとからだの健康観察』をお願いします。『母親は名医に勝る』と言われる。いつもと違うなと感じたら、体温を測りながら体の様子を聞いてあげてください。そして手を当ててあげてください。子供たちの元気の源は、おうちの方の愛情です。子供が話す学校での出来事を、『優しい目と大きな耳と小さな口で』受け止めてあげてください。ありのままの自分を丸ごと受け止めてもらえたとき、子供たちの心のエネルギーになり、明日への活力となります。



学校医・学校歯科医・学校薬剤師の先生方

内科	永澤 康溥	先生（永澤医院）
歯科	大森 和彦	先生（大森歯科医院）
耳鼻科	玉川 雄也	先生（玉川耳鼻咽喉科）
眼科	原 岳	先生（原眼科病院）
薬剤師	鈴木 義高	先生（スズキ薬局）

今年度も健康診断や環境検査でお世話になる先生方です。

お会いした時には、元気にあいさつをしましょう。

保健室にいる養護教諭の
斉藤砂織です。

今年もよろしくお願いします

保健室では『命を大切にし、自分を知り、自分の健康を自分でつくる』そんな心が育つようにと考えています。保健室は毎日の学校生活の中でのけがや病気の時の一時的な応急処置をしてもらうだけでなく、子供たちと病気やけがの対処方法や予防方法について一緒に考え、学んでいく場だと考えています。

また、心の面でも支援していきたいと思います。保健室の対応についてお気づきの点がありましたら遠慮なくお知らせください。御家庭の御協力をどうぞよろしくお願いいたします。



健康診断について

4月から6月にかけて健康診断が行われます。各検診の予定につきましては別紙プリントを御覧ください。

学校の健康診断は病気の診断をするものではなく、疑いがあるかどうかを見ることを目的としています。場合によっては病院での精密検査で異常がない（治療の必要がない）場合もあります。また、健康診断でわかるのは受けたその日の健康状態だけです。御家庭での毎日の健康観察・健康管理をお願いします。

各検査の結果、治療や検査が必要な場合はその都度通知しますので、お早めに専門医の受診をお願いします。治療や検査が終わりましたら、担任まで『診断票』を必ず提出してください。健康診断や検査結果について御質問や御相談がありましたら、遠慮なく保健室までお尋ねください。



災害共済給付について

学校でお子さんがけがをした場合、入学時に全児童が加入している日本スポーツ振興センターの災害給付制度を利用いただいています。保護者負担金の460円につきましては、年度始めの学校集金で納入していただいております。（学校集金の通知をご確認ください。）

学校でけがをして病院を受診する場合は、窓口や医師に「学校でのけがのため、日本スポーツ振興センターの災害給付制度を利用する。」と伝え、窓口では3割の自己負担分の支払いをしてください。後日、4割の給付が受けられます。



お願い

年度始めは提出物が大変多くあり、お忙しいところ恐縮ですが、保健調査票は20日まで、緊急連絡カードは16日までに、御提出ください。よろしくお願いいたします。